

3. 江別市高齢者クラブ連合会

新地域支援事業（介護予防・日常生活支援総合事業）への取組み

1. 江別市高齢者クラブ連合会の現状

2. 新地域支援事業への取組み

—高齢者相互支援推進・啓発事業—

3. 高齢者ふれあいサロン

4. 高齢者ふれあいサロン実施要綱

5. 高齢者ふれあいサロン実施要綱の運用方針について

江別市高齢者クラブ連合会の現状及び新地域支援事業への取組み

昭和39年創立から連合会の組織及び事業活動は伸展を見てきたが、平成11年度の71クラブ、会員数5,656人をピークに徐々に減少傾向が続いてきている。

こうした中、江高連では、各クラブ役員・会員が日頃から新規会員の加入促進に取り組んできた結果、27年度、28年度と2年連続して会員増加を達成できましたが、29年度(80人減)、30年度(177人減)は減少に転じており、依然として厳しい環境にあります。

1. 江別市の現状（30年4月1日現在 ※市内全域対象の1クラブ除く）

区域別	人口	世帯数	クラブ数	高齢化率
江別 地区	47,558	21,623	27	28.0 %
野幌 地区	42,460	20,291	27	29.3 %
大麻 地区	28,682	14,661	12	32.5 %
計	118,700	56,575	66	29.5 %

2. 江高連会員数の推移（過去6年間 各年度4月1日現在）

年度	クラブ数	会員数	男女比率 (%)	年齢階層別割合 (%)		
				70歳未満	70歳以上	80歳以上
25	64	3,966	男 43.9 女 56.1	14.3	85.7	39.4
26	63	3,843	男 44.2 女 55.8	13.7	86.3	39.3
27	64	3,934	男 44.3 女 55.7	12.5	87.5	39.8
28	66	3,960	男 44.3 女 55.7	13.3	86.7	40.7
29	66	3,880	男 44.4 女 55.6	13.0	87.0	42.3
30	67	3,703	男 44.1 女 55.9	12.6	87.4	44.4

3. 地区別会員数の推移（各年度4月1日現在 ※市内全域対象の1クラブ除く）

年度	江別地区		野幌地区		大麻地区		合計	
	会員数	前年増減	会員数	前年増減	会員数	前年増減	会員数	前年増減
25	1,792	△121	1,400	23	742	△6	3,934	△104
26	1,626	△166	1,452	52	732	△10	3,810	△124
27	1,625	△1	1,569	117	705	△27	3,899	89
28	1,643	18	1,601	32	679	△26	3,923	24
29	1,565	△78	1,599	△2	679	0	3,843	△80
30	1,500	△65	1,564	△35	601	△78	3,665	△178

4. 会員増強対策の目標

- ①解散クラブ“0”を目指そう。
- ②会員減少が続くクラブは、減少傾向に歯止めをかけよう。
- ③現状維持を出来ているクラブは3%の増を目指そう。
- ④マン・ツーマンで声掛け運動を進めよう。
- ⑤新規クラブを立上げよう。
- ⑥自治会など地域団体と連携を図ろう。

5. 年間の主な実施事業

- ①女性の集い ②大運動会 ③健康優良者表彰 ④演芸大会 ⑤ゲートボール大会
- ⑥パークゴルフ大会 ⑦会員作品展示交流会 ⑧親睦研修旅行 ⑨体力測定会
- ⑩新年交礼会 ⑪単位クラブリーダー研修会 ⑫広報誌の発行（月発行・年発行）

<友愛活動の取組み>

- ・絵手紙づくり（誕生日を迎える施設利用者へ送付 毎月第3水曜日）
- ・ご縁募金活動（各クラブの寄付金を福祉機器購入資金として社協に寄付）
- ・タオル寄贈活動（各クラブから収集し福祉施設へ寄贈）
- ・施設訪問活動（コーラス発表、絵手紙の手渡し等）



絵手紙づくり 毎月第3水曜日制作活動



友愛活動員による絵手紙制作



女性部員・友愛活動員によるタオル整理



タオル寄贈活動 各クラブより収集したタオルを整理し福祉施設へ寄贈

新地域支援事業への取組み

—高齢者相互支援推進・啓発事業—

平成28年度に道老連のモデル指定を受け、1年目は友愛活動を中心に実施したが、29年度は正副会長会議などで事業内容を検討の結果、介護保険法改正に伴う新地域支援事業（介護予防・日常生活支援総合事業）へ取組む方針を決定した。

具体的取組みとして、高齢者の通いの場づくりを通じて、日常生活支援や介護予防サービスを提供し、増加する一人暮らしや高齢者世帯の支え手となることを目指し、「高齢者ふれあいサロン」を開設運営することとした。

今後とも、新地域支援事業としてサロン運営を継続的に実施し、地域において高齢者の支え手として支援の和を広げることで新たな会員増に結びつくものと期待している。

【添付資料】別紙のとおり

（1）サロン開設状況

江高連、各地区高連が実施主体となって計6カ所を開設運営している。

（2）各サロンからの活動報告

（3）高齢者ふれあいサロン実施要綱及び運用方針



江高連サロン カラオケ交流



早苗サロン 手芸とオセロゲーム



江別C地区サロン 輪投げゲーム



ふれあい“みどり”サロン介護予防研修会

平成29年度「高齢者ふれあいサロン」開設状況

1. 江別市高齢者クラブ連合会(女性部・友愛活動員)

会場	開催日時	主な活動内容	備考
江別市 総合福祉センター	毎月第3水曜日 11時～14時	・歌声サロン ・茶話会 ・レクリエーション ほか	友愛活動(絵手紙作り)にあわせ、新たにサロン運営を開始

2. 江別B地区高連 ※2ヵ所開設

会場	開催日時	主な活動内容	備考
北叡会夢つむぎ 交流スペース内	毎週月曜日 10時～16時	・折り紙 ・囲碁 ・散歩 ・体操 ほか	施設内の一室を無料にて使用
江別市 区画整理記念会館	毎週火・水・木 9時～12時 毎週金 9時半～15時	・お茶会 ・体操 ほか	図書室を整理して、サロン専用室に使用

3. 江別C地区高連

会場	開催日時	主な活動内容	備考
江別元町 地区センター	毎月1回 (不定期) 13時半～16時	・研修会 ・健康体操 ・ゲーム ・茶話会 ほか	第2火曜日中心

4. 野幌地区高連

会場	開催日時	主な活動内容	備考
野幌鉄南 地区センター	毎月1回 (不定期)	・各種研修会 ・健康づくり活動 ・地域交流会 ほか	しらかば親和会が主体となり、周辺クラブに呼びかけて実施

5. 大麻地区高連

会場	開催日時	主な活動内容	備考
東大麻自治会館	毎月4回 13時～17時	・カラオケ ・麻雀 ・研修会 ・レクリエーション ほか	第1月曜日 研修会等 第2・4土曜日 カラオケ 第4木曜日 麻雀

みんなが集い・楽しみ・学ぶ『高齢者ふれあいサロン』

「高齢者ふれあいサロン」の開設は道老連のモデル指定を受け、高齢者の在宅福祉を支える新地域支援事業として介護予防・生活支援活動を推進するため、各地区高連と連携し、高齢者が見守りあう地域社会づくりを進めるため行うものです。

江高連及び各地区高連の実施状況についてお知らせいたします

江高連(担当:女性部)

- ・サロンの名称 「高齢者ふれあいサロン」
- ・会 場 江別市総合社会福祉センター
(錦町 14-87)
- ・開催状況 毎月第3水曜日 11時～14時
(12月まで8回開催)
- ・参加者数 延べ195人(12月まで)
- ・活動内容



茶話会、健康体操、カラオケ、トランプ遊び、ふまねつとなど

・担当者からの感想等(女性部長 大谷洋子さん)

始めは、中々お友達になるのが大変でしたが、茶話会を通して、近頃は進んで参加してくれるようになりました。サロン運営に当たりましては、女性部員が毎月ごとに企画を立て、高齢者が健康で過ごせる様に高齢者クラブに参加して、家に閉じこもりを防ぐよう趣味活動を生かして努めております。

これからの計画として、社会福祉協議会の玉谷事務局次長をお招きし、社協の役割や地域福祉についての講話を予定しています。

江別B地区高連(担当:早苗クラブ)

- ・サロンの名称 「サロン早苗」
- ・会 場 北叡会夢つむぎ交流スペース
(ゆめみ野東町 1-5)
- ・開催状況 毎週月曜日 10時～16時
(12月まで29回開催)
- ・参加者数 延べ568人(12月まで)
- ・活動内容



麻雀・囲碁将棋・折り紙・トランプ・花札・脳トレ体操・昼食後の談笑など

・担当者からの感想等(早苗クラブ 高橋勢津子さん)

“支え合う”を合言葉に多くの人たちの協力のもと、念願のサロン早苗を開設して7か月が過ぎました。開設場所からの笑う声は今も変わらない、当地域では75歳以上の高齢者が300名近く在住しています。若い人が家を建て地方から親を呼んでの2世帯が多く、高齢になってからの移住は新しい環境に馴染めなく、友達も出来づらい、声掛けをしたり回覧版を回したり間口を広めているが第一歩を踏み出してもらうのに時間がかかります。1年でも長く自分の事が自分で出来るよう明るい笑顔で1日1日を送る事が出来る様にその手助けをして行きたいと思っています。足腰が弱くなり歩くのに自信の

無い人が家から出ずに閉籠ってしまう、その人達に参加してもらう為にはどうしたら良いのか、新しい年を迎え知恵を出し合い良い方向に解決し、多くの高齢者の笑い声が聞こえる、そんな地域にして行きたいと思います。

支え合うという言葉の意義を考えみんなの行く道なのだから参加者の「月曜日が楽しみだ・・・」と言って下さる事が一番の励みになります。

江別 B 地区高連(担当:あけぼの寿楽会)

- ・ **サロンの名称** 「ふれあいサロン」
- ・ **会 場** 江別市区画整理記念会館
(朝日町 1 1 - 1 2)
- ・ **開催状況** 毎週火・水・木・金曜日
9 時～12 時
(金曜日のみ 9 時 30 分～15 時)
(12 月まで 28 回開催)
- ・ **参加者数** 延べ 56 人 (12 月まで)
- ・ **活動内容**



友達同士での会話、サークル活動終了後の茶話会、カラオケ、相談事の窓口など

・担当者からの感想等(あけぼの寿楽会 小野宣之さん)

地域の自治会を通じて開設案内をしたが、当初あまり周知されておらず、参加が少なかったが、最近徐々に利用されています。当館を利用されている高齢者には喜んでもらっています。

今後はひきこもりがちな方々を誘って来ていただくためにも、楽しいゲームやクイズ等のレクタイムを設けることも検討中です。

2 月には包括支援センターの協力をいただき「認知症予防」のお話しを予定しています。

これからは「ふれあいサロン」の開設を多くの方々に知っていただき、フリースペースの憩いの場として利用してもらうよう努めたいと思います。

なお当地域の「ふれあいサロン」は江別 B 地区高連と連携し、江別市区画整理記念会館の指定管理者であります東部地区施設管理協議会(地域の自治会長が役員)の自主事業として運営しています。

江別 C 地区高連(担当:江別清風クラブ)

- ・ **サロンの名称** 江別 C 地区「ふれあいサロン」
- ・ **会 場** 江別元町地区センター
(元町 1 - 2)
- ・ **開催状況** 毎月 1 回 (不定期)
13 時 30 分～16 時
(12 月まで 6 回開催)
- ・ **参加者数** 延べ 2 2 0 人 (12 月まで)
- ・ **活動内容**



ラジオ体操・ふまねっと運動・外部講師による講話・ゲーム・懇談など

・担当者からの感想等(江別清風クラブ 木村 誠さん)

ふれあいサロン開始にあたり、江高連より数回の説明を受け、7 月から開催することになりました。

実施すると参加者のほとんどが高齢者クラブの会員です。そしていつも云われているように初めての人との付き合いの悪さがあります。

そのため、私共のメニューで進めて参りました。普段あまり体を動かしていない人が多いので、ラジオ体操、ふまねっと等軽い運動は好まれたようです。また、外部の方による講話についても高い関心を示しておりました。

まだ、理想のサロンとはなっておりませんが、随分と交流が図られたと思います。

今後は、参加者の皆さんからの継続要望が出てくることを願っています。

野幌地区高連(担当:しらかば親和会)

・サロンの名称 ふれあい「みどり」サロン

・会 場 野幌鉄南地区センター
(東野幌本町6-2-1)

・開催状況 毎月1回第3水曜日
9時30分～12時
(12月まで6回開催)

・参加者数 延べ357人(12月まで)

・活動内容

健康体操(Eーリズム)・介護保険改正、介護予防研修会・健康相談と研修会・医療大学生との意見交換会など

・担当者からの感想等(しらかば親和会 阿部 実さん)

1. 地域の高齢者クラブとの交流親睦が深まった。
2. 専門的な研修会が出来て、健康に対しての知識等を得ることが出来た。
3. 健康体操を入れての会合なので、参加者が増えて今後の会員増強につながると思う。今後、活動内容を変えながら、参加者の意見を聞き興味のもてる内容を進めて行きたい。男性の参加者をどの様にして増やすかも今後の課題である。



大麻地区高連(担当:大麻新町クラブ)

・サロンの名称 大麻新町クラブふれあいサロン

・会 場 東大麻自治会館
(大麻新町5-8)

・開催状況 毎月第1月曜日・第2第4土曜日
第4木曜日
13時～17時
(12月まで20回開催)

・参加者数 延べ390人(12月まで)

・活動内容

講習会・カラオケ・麻雀など

・担当者からの感想等(大麻新町クラブ 佐賀山裕さん)

自治会の会員でありながら、横の繋がりがあまりない中で新町クラブという老人クラブを通して横の繋がりが生まれ、家に閉じこもりがちな老人が楽しいひと時を過ごせることは非常に素晴らしいことです。



江別市高齢者クラブ連合会 高齢者ふれあいサロン実施要綱

平成29年3月28日理事会決定

(目的)

第1条 この事業は、高齢者が住み慣れた地域で孤立することなく、生きがいを持ち、安心して暮らすために、日常的なふれあいや交流を行うことができる「高齢者ふれあいサロン」（以下「サロン」という。）を設置し、不安や孤立感を解消し、見守りや閉じこもり防止及び介護予防を図ることを目的とする。

(実施主体)

第2条 サロンの実施主体は、江別市高齢者クラブ連合会（以下「江高連」という。）及び江高連が組織する江別A地区、江別B地区、江別C地区、野幌地区、大麻・文京台地区の各高齢者クラブ連絡協議会（以下「地区高連」という。）とする。

(実施内容)

第3条 江高連及び各地区高連は、「介護予防」「閉じこもり予防」「安否確認」「仲間づくり」の視点で、第1条に掲げる目的の達成につながる次の活動などを実施する。

- 1 茶話会やレクリエーションなどの趣味活動など、参加者が興味・関心がもてる多様な活動を取り入れるものとする。
- 2 健康増進などのテーマを設定して、関係機関、団体などから講師を迎えて研修会を開催するものとする。
- 3 サロンは、高齢者が気軽に立ち寄れる集いの場であることを広く周知して、地域とのつながりをつくるように努めるものとする。
- 4 実施回数は、月1回以上開催するものとする。

(実施場所)

第4条 江高連及び各地区高連が、活動地域内の実情に応じて参加者の集まりやすい会場を選定して実施する。

(参加対象者)

第5条 サロンは、江高連及び各地区高連の活動地域に居住するクラブ会員及び会員外の高齢者を対象に実施するものとし、参加者には運営に協力する地域住民等を含むものとする。

(参加費)

第6条 サロンの参加費は無料とする。ただし、食事会などの必要に応じて参加者から実費を徴収できるものとする。

(企画運営)

第7条 江高連及び各地区高連は、加盟する単位クラブと協力し、地域住民とも互いに連携して、サロンの運営委員会等の協議の場を設けて企画・運営に当たるものとする。

(普及活動)

第8条 江高連及び各地区高連は、各単位クラブが活動区域内でサロンを設置・運営するよう指導助言に努め、サロンの普及拡大を図るものとする。

(関係機関との連携)

第9条 江高連及び各地区高連は、サロンの運営にあたっては、介護支援や相談業務を担う地域包括支援センターなど関係機関と連携・協力して適切な事業活動を行うものとする。

(助成金)

第10条 江高連は、サロンを設置する各地区高連に対して、以下に掲げる経費を助成する。

- 1 平成29年度は、一地区高連あたりサロン設置経費として1万円及び運営経費として2万円を助成する。
- 2 助成金の使途は、事務費、会場借上費、通信運搬費、交通費、謝礼などサロンの設置及び運営に必要な経費に限るものとする。
- 3 平成30年度以降は、サロン運営費として予算の範囲内で助成する。

(届出等の提出)

第11条 各実施主体は、事業開始前にサロン設置届（別紙様式1）を江高連会長に提出する。また、事業完了後はすみやかに、事業実績報告書（別紙様式2）及び収支決算書（別紙様式3）を提出しなければならない。

(活動日誌)

第12条 各実施主体は、サロン開催の都度、事業内容、参加者の利用状況などについて活動日誌（別紙様式4）に記録しなければならない。

(委任)

第13条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成29年4月1日から施行する。

高齢者ふれあいサロン実施要綱の運用方針について

江別市高齢者クラブ連合会 高齢者ふれあいサロン実施要綱（29年3月28日理事会決定）に定める助成金の取扱いについては、下記の運用方針により取り扱うものとする。

記

- 1 高齢者ふれあいサロン実施要綱第10条に定める助成金については、同条第1項の規定にかかわらず、サロンを開設運営する地区高連に対しては、予算の範囲内で加算して交付できるものとする。
- 2 前項による加算額については、会長が別に定めるものとする。
- 3 この運用方針による取り扱いは、平成29年度助成金に限るものとする。